

山口県立総合医療センター  
長州総合診療  
プログラム

つむぐ、  
つながら、  
つよくなる。



**General Medicine**

Yamaguchi Prefectural Grand Medical Center

総合診療専門医



# 未来は現在からつくられる、想いを「つむぐ、つながる、つよくなる」

## ABOUT 「長州総合診療プログラム」について

山口県では、へき地をはじめとした多くの地域で医師が不足しており、地域住民に対する医療提供体制の確保が急務です。こうした地域では様々な住民のニーズに対応し、入院・外来診療から在宅医療や緩和ケアまで、保健・福祉との密接な連携などにも幅広く対応できる「総合診療医」が望まれています。これらの医師の育成には、大病院の研修だけでは十分とは言えず、外来・入院診療、在宅医療、また保健・福祉の領域も研修すべきです。

一方、地域医療機関では、高度な診療技術に接する機会が少なく、病院医師として不安を感じることもあります。このプログラムは基幹病院と地域医療機関が相互に補い合うことにより、臓器や疾患を必ずしも限定しない、地域住民の様々なニーズに幅広く対応できる総合診療医の養成を目標としています。

当院は、30年以上自治医科大学の卒業生の研修施設として、へき地医療拠点病院として、県内のへき地医療を担う人材育成を行ってきました。当プログラムは、へき地医療を実際に経験した自治医大の卒業生を中心に、へき地医療機関と連携して、これからの超高齢社会に対応でき、ふるさとの医療を守る「総合診療医」を育てます。



院長 武藤 正彦

## MISSION 「長州総合診療プログラム」のミッション

私達は、日本のへき地医療・地域医療の現在から将来を見据え、地域社会に貢献できる医師を目指します！

- 山口県のへき地医療機関と連携し、患者・家族のみならず、地域社会の安心と安全に貢献できる医師を育成します。
- 日本のへき地・地域に世界標準の医療を提供できる医師を育成します。
- 少子高齢化を迎える世界的課題を前向きに捉え、将来に向けて持続可能な「仕組み作り」「次世代の育成」ができる医師を育成します。

## POINT 「長州総合診療プログラム」の強み・特徴

### ■ 主体性を育てる

主治医として患者さんに継続的に関わることで、主体性のある医師として大きく成長できます。

### ■ へき地は医師をステキにする

基幹病院に加えて、へき地の医療機関で診療することで、医療資源の限られた環境であっても最善の医療を行う力を身につけることができます。プログラム修了後に、希望すれば離島医療を経験することもできます。

### ■ 充実したサポート体制

専攻医ごとに1人の指導医がメンターを担当し、気軽に相談できる体制をとっています。また、へき地であっても、Skype®などWebを活用した振り返りを週1回定期的に行っており、診療など現地で困った場合には、24時間いつでも電話相談できる体制（ホットライン）で指導医陣がしっかりとサポートします。

### ■ 世界最新のエビデンス

当プログラム専攻医は、へき地でもUpToDate®が利用できる体制を整えています。へき地でも、へき地だからこそ、最新のエビデンスを土台に指導医と共にディスカッションを行っています。さらに、最新の知見に基づき、かつ地域で役立つという視点で行うレクチャーを月1回開催しています。

### ■ これまでの実績

前身の家庭医療専門医プログラムには過去に8名の医師がエントリーしています。自治医科大学卒業生が中心ですが、卒業大学にかかわらず、専攻医を募集しており、自治医科大学以外の医師も複数名の実績があります。

### ■ 次世代の育成

医学生を対象としたセミナーや、初期研修医師の地域医療研修等を通じて、次世代の育成に携わることができます。

### ■ 海外も含めた研修

週1回の研修日が確保されており、特に関心のある分野の研修が可能です。オレゴン健康科学大学等での国内外短期研修の機会もあります。

### ■ 多職種連携・地域連携

へき地では医療機関のスタッフ、地域の介護福祉関係者と顔の見える関係を構築しやすく、多職種連携・地域連携の能力を大いに高めることができます。

最新情報を  
CHECK!



### ■ プログラム例

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	山口県立総合医療センター	救急科			小児科			内科			総合診療Ⅱ		
2年目	連携施設	総合診療Ⅰ											
3年目	連携施設	総合診療Ⅱ			内科								

### ■ 総合診療科募集定員 4名

### ■ 連携施設の指導医

下関市立豊田中央病院	吉富 崇浩
美祢市立病院	松永 登喜雄・田中 昭吉・李 博文
美祢市立美東病院	村上 不二夫・村上 泰昭
周防大島町立大島病院	松本 直晃
周防大島町立橘病院	山本 徹
周防大島町立東和病院	小橋 亘・澤近 節
岩国市立錦中央病院	林 延彦
岩国市立美和病院	片山 寛之
萩市診療所群	佐久間 暢夫

### ■ 連携施設MAP

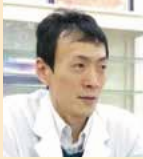


1 下関市立豊田中央病院 2 美祢市立病院 3 美祢市立美東病院 4 周防大島町立大島病院 5 周防大島町立橘病院



6 周防大島町立東和病院  
7 岩国市立錦中央病院  
8 岩国市立美和病院  
9 萩市離島・中山間地域等へき地研修診療所群





### ■長州総合医・家庭医養成プログラムOB

岩国市立美和病院

**長沼 恵滋**

平成26年 東京慈恵会医科大学医学部医学科卒業  
平成28年 山口県立総合医療センター 初期臨床研修修了  
平成29年 内科認定医取得  
平成31年 長州総合医・家庭医養成プログラム修了  
平成31年4月より山口県ドクタープールにエントリー

当プログラムの特色は、へき地をベースとしている点です。へき地の医療機関では外来や病棟だけでなく、訪問診療や施設の嘱託医、健診、予防接種などを一手に担っており、幅広い知識・技能の習得ができます。また、人やモノの制約を意識しながら、疾患の治療だけでなく患者さんの「人生そのもの」に対するケアを考えていくマインドも身につけることができます。もし対応が難しい患者さんに会ったとしても、インターネットテレビ電話を利用して県立総合医療センターの指導医へ相談ができる体制が整えられており、不安なく診療に臨むことができます。総合診療だけでなく、へき地医療へ興味をお持ちの方、当プログラムで学んでみませんか？



プログラム責任者

### 原田 昌範

山口県立総合医療センター  
へき地医療支援部 診療部長

平成12年 自治医科大学卒業  
日本プライマリ・ケア連合学会 認定医・指導医・家庭医療専門医  
日本外科学会 認定医／日本内科学会 認定医  
社会医学系専門医協会 社会医学系専門医・指導医  
身体障害者指定医／日本DMA T隊員  
山口大学医学部非常勤講師／神戸大学医学部非常勤講師

『へき地は医師をステキにする』これは、私の尊敬する先輩からいただいたメッセージです。当院に在籍している指導医も全員へき地医療機関での勤務経験があります。揃っていない・足りないからこそ得られるものがあります。医師としての礎(いしずえ)を、地域住民とともに地域とともに我々と一緒に磨いてみませんか？



### 佐久間 暢夫

萩市国民健康保険川上診療所 所長  
萩市休日急患診療センター センター長

昭和61年 自治医科大学卒業  
医学博士  
日本プライマリ・ケア連合学会 認定医・指導医  
日本内科学会 総合内科専門医  
日本東洋医学会 漢方専門医  
山口大学医学部臨床准教授

患者さんや介護保険の利用者さんだけでなく地域住民の皆さんとも、その地域の生活者として関わります。関係諸団体・医師会・行政機関が密に協働し、実効性のある多職種連携を構築していきます。地域の中で悩みながら研修しましょう。



### 中嶋 裕

山口県立総合医療センター  
へき地医療支援部 部長

平成14年 自治医科大学卒業  
日本プライマリ・ケア連合学会 家庭医療専門医・指導医  
日本内科学会 総合内科専門医／日本DMA T隊員  
インфекションコントロールドクター (ICD)  
自治医科大学学外講師 (地域医療担当)  
社会医学系専門医協会 社会医学系専門医・指導医

家庭医療プログラムから一つ一つ Ver.Up!, StepUp! してきました。こちらのプログラムは、へき地、地域を舞台に行われます。人も資源も都会ほどありませんが、地域そしてあなたの良いところを探していけるプログラムになっていると思います。



### 吉富 崇浩

下関市立豊田中央病院  
院長

平成10年 自治医科大学卒業  
日本内科学会 総合内科専門医  
日本プライマリ・ケア連合学会 家庭医療専門医・認定指導医  
日本消化器病学会 専門医  
日本消化器内視鏡学会 専門医

過疎地域の医療の実態、介護も含めた地域包括ケアの在り方、在宅医療から介護サービスの提供まで地域とともに実践するなど、過疎ならではの経験を積んで、いっしょに総合診療を実践してみませんか？



### 宮野 馨

山口県立総合医療センター  
へき地医療支援部 部長

平成17年 自治医科大学卒業  
日本プライマリ・ケア連合学会 認定医・指導医  
日本内科学会 総合内科専門医  
自治医科大学学外講師 (地域医療担当)

我々のプログラムが提供するへき地というフィールドは、近接性・包括性・協調性・継続性・責任性といった総合診療医にとって重要な要素が全て詰まっています。自らの行う医療がダイレクトに自らに帰ってくる貴重なフィールドで、我々と一緒に成長していきませんか。



### 片山 寛之

岩国市立美和病院  
院長代理

平成22年 自治医科大学卒業  
日本プライマリ・ケア連合学会 家庭医療専門医

へき地では、「ない」ということが多いですが、「ない」なりに作り出していき、工夫していくという楽しさがあります。医療者として現場で学ぶことも多く、充実した研修が送れると思います。一緒に成長しませんか？

領域別研修・・・井上康(内科)、長谷川真成(小児科)、井上健(救急)



### 横田 啓

山口県立総合医療センター  
へき地医療支援部 部長

平成20年 自治医科大学卒業  
日本プライマリ・ケア連合学会 認定医・指導医  
日本内科学会 総合内科専門医  
日本腎臓学会 専門医

私は神奈川県出身ですが、山口県のへき地で勤務して、地域住民との密接な関わりに大きな魅力を感じました。山口県以外の出身の方にも醍醐味を味わっていただきたいので、お気軽に見学に来ていただければと思います。



地方独立行政法人 山口県立病院機構  
**山口県立総合医療センター**

お問合せ先

メールアドレス [soumuka@ymghp.jp](mailto:soumuka@ymghp.jp)  
プログラムHP [choshugeneral.wordpress.com](http://choshugeneral.wordpress.com)

〒747-8511 山口県防府市大崎10077  
TEL 0835-22-4411 FAX 0835-38-2210  
<http://www.ymghp.jp> 山口県立総合医療センター

